

日本スポーツマスターズ 2019

競 泳 競 技

◇主 旨

21世紀のスポーツ振興を図るにあたっては、幼児から高齢者までが生涯を通じて自己の能力、志向等に
応じて、豊かにスポーツを楽しむことのできる環境を醸成していくことが重要である。

本大会はスポーツ愛好者の中で、競技志向の高いシニア世代のシンボリックなスポーツ祭典として、参加
者がお互いに競い合いながらスポーツに親しむことにより、生涯スポーツのより一層の普及・振興を図り、
併せて、生きがいのある社会の形成と、健全な心身の維持・向上に寄与しようとするものである。

- ◇主 催 (公財)日本スポーツ協会・岐阜県・(公財)岐阜県体育協会・(公財)日本水泳連盟
◇主 管 (一社)岐阜県水泳連盟
◇公 認 (公財)日本水泳連盟・(一社)日本マスターズ水泳協会
◇期 日 2019年8月31日(土)・9月1日(日)
◇会 場 岐阜メモリアルセンター 長良川スイミングプラザ(岐阜県岐阜市長良福光大野2675-28)

◇競技方法

- (1) 全て、男女別、年齢区分別のタイムレース決勝とする。
(2) (公財)日本水泳連盟競泳競技規則に準ずる。

◇種目・年齢区分・競技順序・参加人員・リレー種目

(1) 競技種目

自由形：50m・100m 背泳ぎ：50m・100m 平泳ぎ：50m・100m バタフライ：50m・100m
個人メドレー：200m フリーリレー：4×50m メドレーリレー：4×50m
混合フリーリレー：4×50m 混合メドレーリレー：4×50m

※男子、女子および年齢別共に同一種目とする。

(2) 年齢区分(男女共通)

- | | |
|----------------|----------------------|
| ① 個人種目(個人の暦年齢) | ② リレー種目(泳者4名の暦年齢の合計) |
| 1部(30歳～34歳) | 120歳の部(120歳～159歳) |
| 2部(35歳～39歳) | 160歳の部(160歳～199歳) |
| 3部(40歳～44歳) | 200歳の部(200歳～239歳) |
| 4部(45歳～49歳) | 240歳の部(240歳～279歳) |
| 5部(50歳～54歳) | 280歳の部(280歳～296歳) |
| 6部(55歳～59歳) | ※リレーも74歳までとする |
| 7部(60歳～64歳) | |
| 8部(65歳～69歳) | |
| 9部(70歳～74歳) | |

(3) 競技順序(女・男 9・8・7・6・5・4・3・2・1部の順)

第1日目(タイム決勝)

- 1 混 合 4×50mフリーリレー
- 2 女・男 200m個人メドレー
- 3 女・男 100m自由形
- 4 女・男 100m平泳ぎ
- 5 女・男 100mバタフライ
- 6 女・男 100m背泳ぎ
- 7 女・男 4×50mフリーリレー

第2日目(タイム決勝)

- 1 混 合 4×50mメドレーリレー
- 2 女・男 50m背泳ぎ
- 3 女・男 50mバタフライ
- 4 女・男 50m平泳ぎ
- 5 女・男 50m自由形
- 6 女・男 4×50mメドレーリレー

(4) 参加人員

各都道府県からの代表選手数は当面制限しない。なお、個人の参加種目は1人3種目までとする(リレーは除く)。但し、監督(選手を兼務することができる)は1名とする。

(5) 個人種目及びリレー種目

- ① リレー種目は、泳者4名の暦年齢の合計とする。なお、リレー種目への参加は74歳までとする。
- ② リレー種目出場者は、同一リレー種目に二つ以上の年齢区分から出場できない。
- ③ リレー種目は都道府県1チームのみとする。なお、これ以外はオープン参加とする。

◇申込規定

(1) 参加資格、年齢基準及び所属都道府県

選手は、(公財)日本水泳連盟(2019年度)又は、(一社)日本マスターズ水泳協会登録完了者(2019年)で、下記に該当すること。

- ① 年齢基準は2019年12月31日現在とする。
- ② 所属する都道府県に在住又は在勤の者。
- ③ 第74回国民体育大会水泳競技会(都道府県予選会及びブロック大会を除く)に選手として参加する者は、本大会に選手として参加することはできない。

※監督については、公認水泳コーチ・公認水泳上級コーチ、公認水泳教師・公認水泳上級教師、公認水泳指導員・公認水泳上級指導員の資格を有する者とする。(指導者資格は、(公財)日本スポーツ協会公認資格とする)

(2) 参加料 一人 5,000円(監督専任者を除く)

一度納入された参加料は返金しない。また、地震・風水害等により大会を中止した場合、旅費・宿泊費の補償はしない。

(3) 申込方法

- ① 参加希望者は、所定の参加申込書用紙に必要事項を記入し、都道府県水泳連盟(協会)に申し込む。
- ② 都道府県水泳連盟(協会)は、参加資格、参加人員の規定に合わせ、選手を選出の上、(公財)日本スポーツ協会の「参加登録用紙」と(公財)日本水泳連盟Webエントリーから出力される「競技会申込書明細表」と「競技会申込(エントリーTIME)データ一覧表」を3部作成し、2019年7月12日(金)必着にて、1部を所属都道府県体育協会に、2部を(公財)日本水泳連盟に提出する。なお、参加料は都道府県水泳連盟(協会)が取りまとめて、(公財)日本水泳連盟指定口座へ振り込み、振込受領証コピーを(公財)日本水泳連盟に提出する。
- ③ (公財)日本水泳連盟は、2部の参加申込書のうち1部を、2019年7月19日(金)までに、(公財)日本スポーツ協会へ送付する。
- ④ 参加申込後に選手を交代する場合には、所定の様式により上記①、②の参加申込を同様の要領にて届けなければならない。

(4) その他

- ① 大会出場にあたり、所属名並記を希望する競技者は、所定の様式「競技者所属名称団体並記申請書」を提出すること。なお、所属名並記は(公財)日本水泳連盟登録団体・選手登録者に限る。
- ② (一社)日本マスターズ水泳協会の定めるマスターズ記録の公認は、大会申込時に2019年の(一社)日本マスターズ水泳協会の個人登録完了者に限る。ただし、記録の公認は個人種目のみとする。

◇水着等の制限

(1) 競泳水着はFINAの公認した水着を着用すること。水着は1枚のみとし、水着の重ね着は禁止する。また、テーピングや2次加工は禁止する。

(2) 選手や役員が宣伝・広告の媒体とならないようにアリーナ内で着用・持ち込みする物を制限(水着・バッグ・シャツ等のマーク)している。

※水着規定の詳細は、(公財)日本水泳連盟のホームページ「競技会において着用又は携行することができる水泳用品、用具のロゴマーク等についての取扱規定」の内容をよく読むこと。

◇参加上の注意

(1) 参加者は、自ら健康診断を受診する等の健康状態の把握に努めること。また、競技実施前、実施中に

体調の変化を感じた場合には、自ら競技の棄権を申し出ること。

(2) 事故発生の場合、主催者は応急処置を行い、必要に応じて医療機関に移送する。

(3) 大会参加者の大会期間中の偶然かつ急激なケガを補償するため、(公財)日本スポーツ協会にて傷害保険に加入する。なお、参加者各人においても、別途傷害保険に加入することが望ましい。

(4) 参加者は、保険証を持参すること。

(5) 緊急時対応のため、各チームの代表者は全参加者の緊急時連絡先(本人以外)を把握しておくこと。

(6) 薬を常時服用している場合、服用している薬が分かるもの(お薬手帳等)を必ず携行すること。

◇表彰・得点

(1) 各種目の年齢区分ごとに、第1位から第3位までの者に記念品を授与する。また、第1位から第8位までの者に、賞状を授与する。なお、同一都道府県で3名以上参加しているときは上位2名までとする。

(2) 合計得点により男女総合成績の第1位から第8位までの都道府県を表彰する。

① 個人種目、リレー種目ともに1位8点、2位7点、3位6点、4位5点、5位4点、6位3点、7位2点、8位1点とし、同タイムの場合は、同順位同得点とする。

② 合計得点は個人種目上位2名とリレー種目1チームの合計得点とする。

③ 合計得点と同得点の場合は、次のとおりとする。

- ・リレー得点の多い方
- ・入賞者数の多い方(リレー種目は4と計算する)
- ・1位の数の多い方
- ・以下8位までこれにならう

(3) 本大会へ10年連続出場者に記念品等を贈る。

① 対象者は、(公財)日本水泳連盟「日本スポーツマスターズ10年連続出場者表彰申請書(2019年度)」様式に記入する。

② 本大会監督者は、申請者の資格等確認の上、2019年7月12日(金)までに(公財)日本水泳連盟生涯スポーツ委員会「日本スポーツマスターズ2019岐阜・水泳競技会(10年連続出場)」係に届けること。なお、当日レースを棄権した場合は連続出場表彰を取り消しとする。

◇会議

(1) 資格審査・プログラム編成

日時/2019年8月1日(木) 午後1時～

会場/Japan Sport Olympic Square 会議室

〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号

TEL

FAX

(2) 監督者会議

日時/2019年8月30日(金) 午後3時～

会場/岐阜メモリアルセンター 体育室

〒502-0817 岐阜県岐阜市長良福光大野2675-28

◇大会情報

競技日程、組合せ等の確認は、(公財)日本水泳連盟のホームページに掲載する。